

ご案内

第7回MELON会員のつどい

3月19日（火）に開催された2001年度第6回理事会において、「第7回MELON会員のつどい」が6月22日（土）に開催されることが決定致しました。以前からの会員の皆様はもちろんご存知だと思いますが、これは株式会社という株主総会にあたるものです。但し、株式会社と違い財団法人の場合は理事会が議決機関となりますので、「会員のつどい」では議決をとることはありません。いずれにせよ、1年間の活動と今後の事業計画を会員の皆様にご報告する場であり、年に一度の一大イベントです。

昨年度のつどいでは、北海道で市民による風力発電機の建設を行なった「北海道グリーンファンド」の鈴木事務局長に記念講演をして頂きました。そして、2001年8月にはMELONでも風力発電プロジェクトが立ち上がり、県内での風況精査に向けて活動中です。

今年度は第2部で昨年度の「MELON環境大賞」の



第6回MELON会員のつどい会場風景

受賞者に受賞内容についての講演をお願いする予定です。「MELON環境大賞」は環境保全に寄与した活動や研究開発に対しMELONが表彰するもので昨年度が第1回となっています。これについては、別の記事で詳しくお伝えします。



木村修一理事長

今年度は8月26日から南アフリカのヨハネスブルグで「持続可能な開発に関する世界サミット」が開催されます。これはMELON設立のきっかけとなったリオの地球サミットから10年目ということでリオプラス10とも呼ばれています。MELONとしても会員拡大を含め、もう一度活動を見直していく節目の年になりたいと思いますので「会員のつどい」には是非とも皆様方の積極的なご参加をお願い申し上げます。

「第7回MELON会員のつどい」

- 日時：2002年6月22日（土）13：30～16：30（その後、懇親会）
- 会場：大学生協仙台会館
（仙台市青葉区柏木1-1-41 TEL 022-717-4858）
- 会費：資料代 500円
- 内容：第1部 2001年度事業報告及び2002年度事業計画報告
第2部 「MELON環境大賞」受賞者の講演を予定。
（詳細については後日決定。）

<Index>

ご案内	第7回維持会員のつどい	1	報告	2001MELON環境大賞受賞者決定！	6
特集	風力発電プロジェクトの報告	2	報告	環境コンサート報告	6
ご案内	部会・プロジェクトに参加しよう！	3	報告	2001年委託事業成果物	7
ご案内	会費納入のお願い	4	ご案内	環境市民講座のご案内	7
シリーズ	かんきょう読み聞かせ ㉔	4	報告	みやぎ生協・日専連からMELONへ寄附金	7
報告	顔が見える安全なみそづくり	5	シリーズ	ストップ温暖化センターみやぎ『通信』⑧	8
シリーズ	漁民の森探訪 ④	5	シリーズ	MELON環境クイズ/会員状況	8

特集

「風力発電推進プロジェクト答申」第5回理事会へ報告

1年間の風況精査実現が急務

プロジェクト代表

木村修一
(MELON理事長)

副代表

芳賀唯史
(MELON副理事長)

メンバー

岩崎玲子
菊地徳子
高橋智子
前田典秀大泉あい
清水智子
長谷川公一
門田陽子瀬戸節子
舟越玲子
専任理事
櫻井常矢

MELONでは、2001年度の重点目標として「市民参加による風力発電事業の実現にむけた調査研究」を掲げ、独自のプロジェクトチームを設置して調査活動を進めてきました。プロジェクトでは、(1)宮城県内における風力発電事業の可能性を見極めるための調査研究(2)市民参加型風力発電事業のシステム研究(3)関係者・機関とのネットワークづくりについて、県内各地での度重なる現地調査や、風力発電に関する国内の専門家・関係機関を招いての勉強会及びプロジェクト例会(計7回)を実施してきました。

従来から宮城県については「風が弱く風力発電に適さない」という一般論が通説となっていますが、事実県内には風力発電可否の根拠となるデータはいずれにも存在していません。プロジェクトではこれを検証する風況精査の実現が重要であると考えてきました。そのため特に(1)については、精査実施可能な用地の選定、精査に必要な調査費の確保並びに発電事業のキャッシュフロー試算等の検討を行ないました。

(1)宮城県内における風力発電事業の可能性を見極めるための調査研究

風況精査実施候補地

蔵王町七日原：蔵王ハートランド内

白石市三住：ミルクファーム蔵王内

石巻市瀬見町：港湾部

米山町西野：道の駅周辺

調査費

NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)風力発電フィールドテスト事業での風況精査に関する補助金への申請が前提であると考えています。その他、一部風力発電事業者との連携にも可能性があり、さらに宮城県が02年度に風況精査実施予算を計上していることなどが注目されます。



白石市三住地区の風景

MELON風力発電キャッシュフロー試算

<試算条件>

- ・1,000kW風車を1基建設する。
 - ・設備総額2億3千万円(23万円/kW、半額を補助金によってまかなう。)
 - ・20年後に設備を廃却するとし、16年~20年目の収益を撤去費用にあてる。
 - ・全発電量を電力会社に売電する。
- その他の条件はクリーンエネルギーフォーラム発行の資料等に基づいて試算した。

<結果>

年平均風速	総発電量	収入	支出	税引き後利益
5.0m/s	17,205kWh	1億9785万8千円	2億2794万4千円	-6262万5千円
6.0m/s	25,500kWh	2億9325万円	2億2794万4千円	1075万円

(3)関係者・機関とのネットワークづくり

今後の調査研究や事業の推進を考慮し、先進地の視察やプロジェクト例会を通じた研究者、電力会社、議会、その他関係する機関とのネットワークづくりを進めました。また風力発電の実現には、国立公園等の土地利用規制、景観の保全や野鳥保護など多くの課題があることから、この点について地元の自然保護団体等へヒアリングを行い、幅広くコンセンサスを得る作業を行って来ました。

現地調査や関係機関との調整を進める中で風況精査を実施できる有力な条件が県内にあることを確認できたことは01年度の大きな成果であったと考えています(なお、(2)市民参加型風力発電事業のシステム研究については風況精査の結果をもとに進めることが妥当と判断し、特に行いませんでした)。プロジェクトでは、この結果について2001年度第5回理事会に答申を行い、2002年度も引き続き風況精査の実現に向けて運動を進めることが確認されました。

昨年、北海道浜頓別で北海道グリーンファンドによる市民風力発電が初めて実現したことは、私たちに大きな希望を与えてくれました。MELONが進める風力発電事業への取り組みもまた、自然エネルギー供給システムの確立を市民の力によって実現しようという内容であることはもとより、子どもたちの環境教育や多様な形での地域の活性化など実に多くの可能性を含んだ環境事業であることは確かです。02年度も再度プロジェクト活動を立ち上げ、これまでどおり運動のプロセスを重視し積極的な取り組みを進めていきます。会員の皆様には是非ご理解とご協力をいただきますようお願い致します。

ご案内 部会・プロジェクトに参加しよう!

4月から新年度に入り、MELON事務局のスタッフ・担当にも若干の変動がありました。各部会・プロジェクトも活動の活性化を図るべく、新メンバーを歓迎します。まだ、活動に参加したことのないあなた!一度、顔を出してみませんか?

水部会

親水(水と親しむ)をテーマとし、身近な河川や湖沼などの観察や調査などを通じて水環境について考えます。

- ・主な活動: 年4~5回の例会、河川の観察会、水辺マップ普及活動など。



川の観察会

緑・食部会

緑・食・農業の3つの分野について、環境の視点から学習を深め、行政への提言活動を行います。

- ・主な活動: 年5回の例会、田んぼの自然観察会、みそ加工、食の安全講座、学習会など。

風力発電プロジェクト

「宮城県に市民参加による初めての風力発電を実現すること」を目標とし、可能性を探ります。

- ・主な活動: 年6~8回の例会、その他(現地視察・行政訪問など)。

セミナー企画プロジェクト

年間10回程度の講演会や観察会の実施、MELON環境コンサートの企画・運営を行ないます。

- ・主な活動: 年6~8回の例会、MELON環境市民講座、MELONエコライフミニ講座(地域の希望者に対しMELONから講師派遣。)

企業&環境プロジェクト

企業の環境問題への取り組み事例などを取り上げ、勉強会等を通じて企業と環境のあり方を考えます。

- ・主な活動: 年3~4回の例会、事例発表会、勉強会など。

ごみ減量プロジェクト

(おさがり市実行委員会が年間を通じ活動するプロジェクトに変更。)

年次目標「紙」をテーマに学習会とイベントを企画・運営する。

- ・主な活動: 年6回の例会、「MELONみんなでおさがり市」(フリーマーケット)、シンポジウムなど。

CLUB-FOREST (CLUB-BEEB改称)

月1回(毎月第3金曜日 今年度6、2、3月は第2金曜)フォレスト5FのMELON事務局において行なう環境関連の情報交換会。特にメンバーが決まっているわけではなく、その都度自由参加。

- ・主な活動: 今年度は地球温暖化問題の各トピックスに関する学習会とMELONの活動に関する自主企画を行なう。

興味のある活動が見つかったら、お気軽にMELON事務局各担当者までご連絡下さい!

迷っている方は、まず事務局に顔を出してみ下さい。優しい?スタッフが相手します。

(下記に事務局体制が、最後のページに住所・TEL・FAX・メールアドレスが載っています。)

2002年度MELONスタッフ体制

事務局長 齋藤昭子

専任事務局

役割	スタッフ名
専任事務局統括	小林 幸司
事務・経理	松倉 一江
情報センター	鈴木 美紀子
ストップ温暖化センターみやぎ	南 隆昭

(事務局開設時間: 月~金の9:30~18:00(原則) それ以外の時間帯もお電話頂ければ、なるべくご都合に合わせて。)

5年半にわたり事務局スタッフをつとめてきた佐々木健治さんと県委託事業担当スタッフだった安藤格さんが3月20日をもって退職致しました。お疲れ様でした。

みやぎ生協・JA宮城中央会・宮城県漁連・宮城県森連・日専連仙台に事務局機能を分担しています。

部会・プロジェクト名	担当者
水部会	鷹 勇司(宮城県漁連)・鈴木美紀子
緑・食部会	大和田道子(JA宮城中央会)・松倉一江
風力発電プロジェクト	櫻井常矢(MELON理事)
セミナー企画プロジェクト	篠原富雄(みやぎ生協)・南 隆昭
企業&環境プロジェクト	白幡 学(日専連仙台)・小林幸司
ごみ減量プロジェクト	陶山東代(日専連仙台)・松倉一江
CLUB-FOREST	南 隆昭

なお、今年度からMELON情報紙等の発送のお手伝いをしてくれるボランティアを募集します。MELONの活動に興味のある方、お手伝い頂けるという方はお気軽に事務局までご連絡下さい。

ご案内

2002年度会費納入のお願い

日頃より財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)の活動にご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年度は、市民講座の開催等に加え、COP6再開会合への理事1名公募市民1名の派遣、風力発電プロジェクトの立ち上げなど大きな動きがありました。

今年度も、環境市民講座の開催や各部会の活動を軸に、その時々ニーズに合った、より有効な活動を企画していきたいと思っております。つきましては、改めて会員の皆さまからのご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

今年度の会費納入につきましては、「振込用紙」を6月発行の「MELON機関誌」とともに送付さ

せて頂く予定です。

会費納入

7月5日頃までに
よろしくお願い致します。

なお、みやぎ生協メンバーの方の口座引き落とし、みやぎ生協職員の方の給与からの引き落としも同時期にさせて頂く予定ですのでご了承ください。



「サーカス物語」

な言葉は出てきません。しかし、それらを生み出す人間の「想像力」の問題が語られます。

そして1984年、日本語版が発刊された年、インドのボパールで化学工場の爆発事故が起きていたことに私たちは、深い衝撃を受けたことはまだ記憶に残っています。

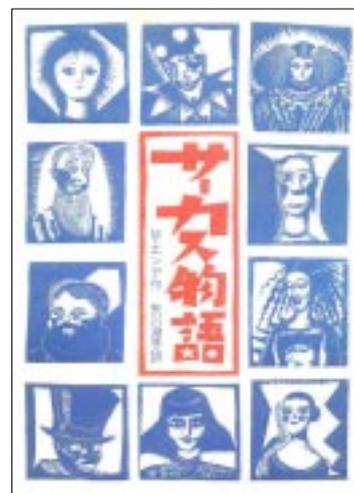
サーカス物語は戯曲の形で書かれています。低学年の子たちには少しむずかしいかもしれませんが、子どもたちに紙で登場人物を作ってもらい、少し上のお兄さんやお姉さんと協力して、読んでみたらいかがでしょうか。

大都市のはずれ、今まさに化学工場の建設が始まろうとしている空き地。知的な障害を持った少女エリを仲間にしたサーカスがあった。

この落ちぶれたサーカス団は、工事を始めようとしている会社のお抱えの芸人となるか、それとも立ち退くかを決めなければならない。

ミヒャエル・エンデの「サーカス物語」(矢川澄子 訳、司 修 画:岩波書店1984年)は現実世界の緊迫した事態の中から始まります。サーカスの団員の言葉を借りて、王子ジョアンの治める明日国(あしたのくに)の物語が語られます。明日国がすさび、滅びていったのが、エンデの想像力引きずられるように物語が展開されていきます。

エンデがこの物語の初稿「サーカス芸人のメルヘン」を書いたのが1976年。セベソでダイオキシンの汚染が起きた時です。このサーカス物語には、環境汚染などに対する直接的



報告

大豆トラスト運動

～顔が見える 安全な みそづくり～

MELON緑・食部会では、3月14日（木）10時から、JAみどりの田尻支店管内の加工施設において男性2名・女性3名の計5名が参加し、県産大豆を使ったみそ造りに挑戦しました。

大きな釜でやわらかく煮た大豆に米麹と塩を混ぜ合わせ、大きなへらでミートチョッパーにいれてミンチ状にし、大きな箱に移したみそを2kg、3kg、5kg、10kgと計量し、計113kg（23人分）をビニール袋に詰め、宅急便用と持ち帰り用に分けました。女性部の方々の手際のいい指導のもと、2時間足らずで作業は終了しましたが、手にはみその匂いがいつまでも残っていました。

用意していただいたお茶と漬物を食べながら、「漬物おいしい」「原料がはっきりわかるみそはぜいたく品」「去年造ったみそはおいしかった」「はじめて造ったので、10ヵ月後が楽しみ」としばらくおしゃべりを楽しみました。話の中で教えて頂いたのですが、みそを加工する時期は一年で最も寒い時期が理想的なのだそうです。そして女性部の方々とは、

来年2月の再会を約束し別れました。年内には来年度のみそづくりの募集をする予定です。

顔が見え原料がはっきりわかる安心・安全な生産物がどれほど消費者に信頼を与え、大切であるかを、みそ造りを通して再認識した1日でした。



漁民の森探訪

最終回 地域をこえた運動の広がり

MELON理事 櫻井 常矢

「森は海の恋人」運動の舞台、唐桑町気仙沼湾や室根村矢越地区には毎年多くの来訪者がある。宮城・岩手県内の小中学校からはもちろんのこと、室根村で開催される植樹祭には遠く九州や関西地方からも訪問があり、その時期には地元住民と遠方の子どもたちの交わる声が矢越山のふもとに響きわたる。

河川水系や海を植林によって蘇らせようとする運動は、この地域だけに止まるものではない。そのひとつ、北上川流域にある岩手県の遠野市では



どんぐりの森づくり

どんぐりの森づくり事業が行われている。小学生を対象に、川の上流と下流そして海の環境とつながりを植林を通じて理解するというものである。2000年春の事業では、150名の子供たちの参加による地元での植林。そして秋の事業では、唐桑町の牡蠣養殖場や室根村ひこばえの森に場所を移し、海と山との結びつきを60名の子どもたちが実体験として学んでいる。

2001年6月、漁民の森づくりは一つの区切りを迎えている。13年目となるこの植樹祭では、宮城・岩手・三重など5県の知事をはじめ約1000人が参加し4000本の苗木が植樹された。植樹祭では、ひこばえの森「環境の世紀」推進宣言を採択し、未来への誓いを新たにしている。

私たち人間の心に木を植える……。「森は海の恋人」運動のリーダー畠山重篤さんの言葉である。漁民の森づくりはいま大川流域を越え、人々を突き動かしながら少しずつ着実に広がりを見せている。さらに多くの人々の心に木を植えるのは、山や川そして海など地域の自然を享受する私たち一人一人であることを強く感じられてならない。

報告

2001 MELON環境大賞受賞者が決定！

MELONが、環境保全に寄与した活動や研究開発などに努める団体などを表彰する「2001MELON環境大賞」の受賞者が3月5日（火）の選考委員会にて選考され、3月19日（火）の理事会にて決定致しました。応募総数は自薦16件、他薦5件の合計21件です。ご応募頂いた皆さま、ありがとうございました。

受賞者は下記の通りです。当初、大賞は1点（賞金50万円）としていましたが、2点が甲乙つけ難いということで大賞を2点とし、賞金は50万円を半分ずつとすることに決定しました。

受賞者は「第7回MELON会員のつどい」で表彰し、受賞内容についての講演をして頂く予定です。

大賞・・・2点（賞金 25万円）

- * 石田真夫（蕃山保護運動と脱スパイク運動他）
- * 畠山重篤（「森は海の恋人」運動と環境教育）

奨励賞・・・6点（賞金5万円）

- * 登米町森林組合（100年の森作り）
- * 中野小学校（PTA・老人クラブと蒲生干潟と野鳥を保護する活動）
- * 田代光洋（川平小学校校長としての実践を交えた環境教育）
- * 株式会社一四一（厨房排水の肥料化と廃物のリサイクル）
- * 蔵王のブナと水を守る会（森作りとナショナルトラスト運動）
- * ACT53仙台（ファイバーリサイクルとグリーンコンシューマー活動）

報告

新春MELON環境コンサート

♪ 杜の都のジャズタイム ♪

春の訪れが待たれる、2月22日、ピープ・ベースメントシアターにて、素敵な夕べが繰り広げられました。環境コンサート第5回目の今年は、いよいよジャズ音楽が登場しました。

定禅寺ストリート・ジャズ・フェスティバルのプロデュース他、幅広い音楽活動をされている、ピアノの榊原光裕さんをお迎えし、ベース、ドラムを交えたトリオ演奏です。

デューク・エリントンの曲が流れ始めると、びっしり埋まった客席はすぐにもジャズの世界に引き込まれたよう、次々と演奏は続きます。曲の合い間のコメントはもちろん、楽しげな表情でピアノに向かう榊原さんの雰囲気、会場の隅にまで伝わってきます。



中盤からのラテン・ナンバーも、ジャズのルーツや民俗音楽に詳しい榊原さんならではの選曲で、いっそう気分が盛り上がりました。

オリジナルの『伝説の海』は、私たちが生きてゆくことへの思いを込めて、7月20日の海の日になんで作曲されたそうです。

そして、最後は『りんご追分』。深く、せつなく、懐かしいその音色から、いろんな情景が浮かんでくるようです。

会場は、若い世代や、ご夫婦連れが目立ちました。長年のジャズファンはもとより、会場のおひとり、おひとりが音に酔いしれた一夜だったのでないでしょうか。

（環境コンサート スタッフ 大熊さん）

報告

2001年度委託事業成果物

2001年度の宮城県委託事業の成果物が完成しました。全て無料ですので、ご希望の方はMELON事務局までお問い合わせください。事務局までお越しただければ、その場で現物を見て頂くことも可能です。(事務局住所・TEL等は最終面を参照。)

「迫川マップ」「白石川マップ」

宮城の川マップシリーズ第4、5作

今回の2つの川、特に迫川については、遊べる場所を紹介しているマップが今までどこからも出



ていなかったようなので、なるべく川と触れ合える、遊べる場所の情報を中心に紹介しています。

「みやぎエコライフCD-ROM」

今年度作成したCD-ROMは以下の2つのソフトを1枚に組み込んだものとなっています。

・みやぎエコライフ家計簿

従来の「みやぎエコライフ家計簿2000」のマイナーチェンジ版です。電気・ガス・水道・ガソリン・軽油・灯油の使用量と料金をパソコンで入力していく環境家計簿で、CO2排出量もわかります。

・地球温暖化と私たちの暮らし

パソコンで図やグラフを見ながら地球温暖化問題を学習できる環境教育用ソフトです。学校の「総合的な学習の時間」を意識して作成しました。

「みやぎエコライフCD-ROM」は原則としてMELONで行なっている環境家計簿モニターに登録して頂ける方にお配りしています。

みやぎエコライフ調査報告2001

2001年の環境家計簿モニターの皆さまから提出して頂いたデータの集計結果です。昨年は、208名の皆さまからデータを提供して頂きました。

ご案内

MELON環境市民講座のご案内
(セミナー企画プロジェクトより)

2002年度の開催予定(現在決定している分です:企画がまとまり次第ご案内いたします。)

テーマ案	講師	日時	開催主体
「ベレットストップを囲んでの情報交換会」 (開催終了)(開催場所:仙台市 宮城県森林組合会館)	話題提供 三浦秀一氏他 (東北芸術工科大学助教授)	4月13日(土) 午後1時30分~4時00分	MELONストップ温暖化センターみやぎ
自然観察会 (開催場所:東北大学植物園)	東北大学植物園の鈴木三男氏 (依頼中)	6月15日(土) 午前10時30分~12時30分	主催:MELONセミナー企画プロジェクト
「知っていますか 身の回りの化学物質のこわさ(仮称)」 (開催場所:塩釜市公民館)	角田和彦氏 (宮城厚生協会小児科医師)	6月30日(日) 午前10時00分~12時00分	主催:塩釜市実行委員会 MELONセミナー企画プロジェクト
めだかの学校(田んぼの自然観察会) (開催場所:田尻町)	未定	7月6日(土)	MELON緑・食部会
「世界の水」について (開催場所:仙台市フォレスト仙台)	未定	7月13日(土)	MELON水部会

報告

みやぎ生協・日専連からMELONへ寄附金

3月12日、日専連からMELONへ寄附の贈呈式が行なわれ、日専連仙台より「日専連ボトル基金」による寄附金30,007円、日専連ライフサービスより「日専連MELON協力商品券」の売上による寄附金814,120円を受け取りました。みやぎ生協から「みやぎ生協MELON協力商品券」の売上による寄附金2,431,686円を受け取りました。これらの寄附金は、

「MELON協力商品券」の売上の一部がMELONへ寄附されるというもので、活動資金や基金造成に活用させて頂いております。

ご贈答の際は、ぜひ「MELON協力商品券」をご利用ください。ご用命はみやぎ生協各店又は日専連加盟店までお願いします。

報告

ストップ温暖化センターみやぎ「通信」⑧

新しい地球温暖化対策推進大綱が出され、新聞上でも地球温暖化問題に関する話題が多く見られるようになってきました。京都議定書の批准を控えて、地球温暖化対策と私達の生活と深い関わりが、より身近になってきている感があります。

家庭での省エネ活動に関する調査

一般家庭の二酸化炭素排出量は、近年増加傾向にあるようです。その家庭生活に関わる二酸化炭素のうち2割ほどが電気の使用によるものです。MELONでは、昨年511名の皆様に環境家計簿モニターに御登録頂き、家庭でのエネルギー使用量の調査を行ってきました。今年は、それに加え運営委員会を中心に、省エネナビを使って実際に家庭での省エネにチャレンジしてみる取り組みをスタートさせました。省エネナビというのは、家庭での電力消費量を10分単位で記録する機械なのですが、現在、どれぐらいの電力を使っているのかがリアルタイムでわかるものです。



省エネナビ

家庭での省エネは、家族構成や、ライフスタイルによって、どこが減らせるのかが大きく異なります。それに対して、きめ細かい提案を行っていくには、自分で実際に体験してみて、その経験にもとづいて提案を行っていくことが、必要だと考えています。現在、20名弱のメンバーでメーリングリストを通じて、実践結果を報告して頂いています。ちなみにこのグループの通称は、Home, Houseに関するEnergy, Ecology, Economyを考えていくということで、HoE(ホエ)と呼ばれています。

なお、ストップ温暖化センターみやぎでは、電化製品の待機電力などがはかれる、ワットアワーメーターの貸し出しを事務所でを行っています。詳しくは事務局：南までどうぞ。

バイオマスエネルギー情報交換会

2002年4月13日(土)に宮城県森林組合会館にて、MELON環境市民講座「森のエネルギー・再発見～ペレットストーブを囲んで」が開催されました。一般市民、林業経営者らが集まり、木くずなどから作られたペレットを燃やすペレットストーブの実物を見て動かしながら、情報交換を行いました。

山形県の山本製作所で試作されたペレットストーブと、新潟県鹿瀬町にある、輸入ペレットストーブの販売代理店からお借りしたカナダ製ペレットストーブの2つを囲んでの情報交換に、参加者からは、値段、デザイン、ペレットの供給方法などから、消防法等法律にいたるまで、活発な意見交換がなされました。

今後、宮城県内においてのバイオマスエネルギーについて情報を集め、発信していきたいと思えます。

MELON 環境クイズ

ヒントはこの情報紙の中にあります。

Q.味噌を加工するのに最も適した時期は次の内いつでしょう?

- A. 1年で最も寒い時期
- B. 1年で最も暑い時期
- C. 時期に関係なく1年中

正解者の中から抽選で5名の方にMELON協力商品券(¥1,000)を進呈します。

応募要綱 メールかはがきでMELON情報センターまで(答えとMELON及び情報紙についてのご意見・ご要望をお書き下さい。)

締切り 5月17日(金)(消印有効・メールは到着分)
前回(第48号)正解:C. 当選者: 依田清枝様

会員状況



合計	1,068
法人	132
任意団体	17
個人	919
(2002年4月8日現在)	

発行元 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台 5F

事務局 Tel 022-276-5118 Fax 022-276-5160

情報センター Tel 022-301-9146 Fax 022-219-5710

ストップ温暖化センターみやぎ Tel 022-301-9145 Fax 022-219-5710

ホームページ <http://www.melon.or.jp/melon> E-mail melon@cir.tohoku.ac.jp